

1. 令和元年度事業報告

NPO 法人シニアネット光の令和元年度（平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日）の活動実施内容を下記報告します。サービスを受けられた方、及びわれわれの活動へご理解とご支援をいただいた皆様に感謝申し上げます。

No	事業	活動実績総括
1	情報化の進展に関する事業	<p>毎週 2 回、光市地域づくり支援センターで、市民の ICT 利活用への疑問や不安などの相談に対応しています。令和元年度は、延べ 542 名の来場者がありました。利用されるツールは、パソコン、タブレット、スマホなどで、ソフトの利活用から、機種を選定、設定など多様な相談に来場されます。このような、駆け込み寺的な対応が必要であり、市民の ICT 利活用への支援を継続していきたいと思ひます。</p> <p>インターネット端末として、スマホは、これからますます、市民の生活を便利にするツールとして活用されていくと思ひます。まず、スマホがどんなものか、スマホについて操作してみたいと思われる市民の方を対象に、各市の市民センターや各種公共施設で、スマホ入門講座を開催してきました。令和元年度では、延べ 144 名の方を対象に、シニアネット光のオリジナルテキストで、会が所有するスマホ 10 台を提供して講座を開催しました。</p> <p>今後も、スマホのそれぞれのアプリの便利な活用や設定等についての要望に対応するため、企画講座を開催し、市民のスマホの利活用を支援して行っていきたいと思ひます。</p> <p>今年は、ろうきん寄付システムの助成の認可を受け、県内各地での、講座開催へ支援いただき感謝しております。来年度に向けても、市民のスマホ活用へ助成を申請したいと思ひます。</p> <p>光市情報学習推進協議会は、光市民の ICT 利活用を促進するため、市民向け講座を行っている団体です、年間 22 回の講座へ 115 名の参加がありました。シニアネット光は参加団体として、講座の企画から実施まで参加しております。</p> <p>県内の ICT 活用の指導者養成を、地域の組織である、シニアネットやまぐちが行っています。シニアネット光は構成団体として、一般社団法人ニューメディア開発協会認定のシニア情報生活アドバイザー及びスマホ・タブレットマスター養成講座を実施しています。</p> <p>令和元年度は、養成講座の開催はありませんでしたが、3 年毎に行う、更新講座を実施し、資格者の交流とレベルアップを図りました。今後も継続して、資格養成とレベルアップを図っていきたいと思ひます。</p>

No	事業	活動実績総括
2	まちの活性化に関連する事業	<p>今後、5G時代を迎え、生活を便利にするためのICT活用は、ますます広がっていくと考えています。地域包括ケアシステムへのICTの利活用は、これからの重要な課題と思っています。山口県立大学と委託研究契約を交わし、地域包括ケアシステムへのICT活用について、先進地の活用事例を調査し、シニアが利用するためのシステムへの課題について検討を依頼しています。今年度については、地域包括ケアへの理解を深めるため、光市の出前講座を開催しました、また、中間報告会を開催し、研究の進行についての確認と今後の進め方について、行政、市民団体が参加した意見交換会を開催しました。令和2年3月末には、研究報告書が完成する予定になっております。報告書に関係先は配布するとともに報告会を開催し、関係者で共有したいと考えております。</p> <p>地域コミュニティの情報発信のため、Facebookページの活用を支援しています。登録から有効な活用まで、相談に対応しております。また、タブレットを提供し、活動を支援しています。</p>
3	市民活動活性化に関する事業	<p>市民活動の活性化のため、市民団体同士で結成している、市民活動ネットワークの構成団体として、今年度はネットワークのチラシづくりを行いました。これからも、市民のICT活用についての講座の後援を受けて活動してゆきます。</p>
4	非営利団体の育成及び支援に関する事業	<p>市民団体の情報発信を促進するため、Facebook社のパートナー団体として、地域のシニアネットやまぐちが承認されました。シニアネット光は構成団体として、Facebook活用講座を開催しました、延べ35名の参加があり、登録から安全安心活用までの講座を開催しました。参加者から更なる講座開催への要望があり、会としての企画講座を今後計画していきたいと思っております。</p>
5	その他、目的達成のために必要な事業	<p>会の活動をFacebookページやブログで情報発信してきました。また、紙媒体での情報発信に会誌を2回刊行しました。</p> <p>毎年、開催されるシニアネットフォーラム in 東京へ参加し、他団体との交流を進めるとともに参加して得た情報を、資格更新講座等を利用して、共有し、レベルアップを図りました。</p> <p>会員の情報共有には、サイボウズOfficeを活用していますが、毎週定期的に交流勉強会を開催し、相談会の反省と改善、企画講座の企画検討、テキスト作成の検討などを行っています。</p> <p>会が所有する、スマホ、タブレット、ルータ等のメンテナンスも定期的に行っています。</p> <p>会の活動を推進するため、いろんな団体との連携・協働が大事と考えております、ICTの利活用を啓発する講演会やセミナーの講師の引き受けや講座へ参加し、会員で共有しレベルアップを図っています。</p>

2. 令和元年度活動実績

No	分類	令和元年度実績			事業費 単位千円
		実施内容	実施日時場所従事者	延べ数	
1	情報化の進展に関する事業	なんでも相談会	毎週2回地域づくり支援センターで市民のICT利活用についての相談対応	542	225
		スマホ普及講座実施	光市生涯学習サポートバンクスマホ入門教室 シルバー人材センタースマホ講座 県東部3市で開催 会自主スマホ入門企画講座開催	144	171
		光市情報学習推進協議会へ参加し市民対象ICT利活用講座実施	一般市民対象にスマホ、パソコンの利活用支援のため、22講座実施	115	39
		シニア情報生活アドバイザー資格更新講座	シニア情報生活アドバイザー資格、3年毎の更新講座実施	10	0
2	まちの活性化事業	山口県立大委託研究	テーマ「地域包括ケアシステムに向けてのICT活用への課題」について、県立大と委託研究契約 研究期間：令和元年6月～令和2年3月	100	125
		地域コミュニティのICT活用支援	伊保木地区、周防地区、塩田地区のFacebookを活用した地域情報発信支援	50	0
3	市民活動活性化に関する事業	市民活動ネットワーク活動へ参加及び支援	市民活動ネットワーク事業参加、チラシ作成事業へ参画	50	0
4	非営利団体支援に関する事業	Facebook活用講座	Facebook社のパートナー団体に参加し、地域づくり支援センターで入門講座&安全安心講座開催開催	35	32
5	その他、目的達成のために必要な事業	会の活動情報発信	Facebookページ、ホームページを活用し、会の活動を公開 紙媒体の会誌を2回発行	100	9
		会員レベルアップのための活動	シニアネットフォーラムin東京参加し、会員で情報を共有	100	50
		自主企画講座開催体制整備	SNSを活用した情報交換と企画検討決定 会独自のスマホ講座用テキスト作成 会所有のスマホ、タブレットのメンテナンス	50	24